

◎議長(鈴木敏正議員)

皆さん、おはようございます。

出席議員も定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は、議事日程第3号によって進めます。日程第1、「一般質問」を行います。発言通告のあった方は、1番 小関英子 議員、3番 塩原未知子 議員、4番 石塚ミツ子 議員、5番 青野隆一 議員、8番 菅野修一 議員、10番 大類好彦 議員、16番 大類準一 議員、以上の7名であります。

発言の順序は、議長より指名いたします。なお、質問、答弁を含め、1議員1時間の持ち時間となりますので、議員の質問に対する当局側の答弁は、質問者の時間制約もありますので、ご協力をお願いいたします。

まず、3番 塩原未知子 議員の発言を許します。

〔3番 塩原未知子 議員 登壇〕

◎3番(塩原未知子議員)

おはようございます。雪を眺むる尾花沢、来週13日の花笠高原スキー場のオープンの準備も整い、待ちに待った雪の季節となりました。

しかし、雪の季節を前に次々に消えてしまった中心商店街の老舗店舗の様子は、ただ事ではないと感じています。見慣れた建物が次々と撤去され、空が寒く広く感じられました。市は商業振興の要である中心商店街活性化対策など、なすすべが無かったのでしょうか。寂しさや、ただ見守るだけしかできない虚しさを感じました。今も昔も変化が無いと思われる地元の風景が、今どんどん変化しています。地方創生、賑わいの喪失、中心部の元気は、空き店舗や空き地の活性化、有効活用が欠かせないと考えています。これから冬、隣の敷地が空いて雪捨て場が増えて助かる。そんな声も聞かれますが、その中心商店街に住まわれている市長はどのように感じておられるのでしょうか。

しかしながら、昨今は銀山温泉に日帰りの観光客が溢れており、特に週末の入込み数が震災前の状況に戻るなど活気を取り戻しております。円安のためか海外からのお客様も増加しているとのこと。残念ながら、その効果が市内全体に波及していないように思われます。

銀山温泉の活気は、一人一人の旅館の接客、観光客へのおもてなしの好評もそうですが、地域が時間をかけ丁寧にまち並みを整えて行った、温泉街の家並みの素晴らしさが何より好評を得ています。

昭和61年3月31日に制定された銀山温泉家並み保存条例の功績が大変大きいと言えます。市で、家並み条

例を制定し、地域がビジョンをしっかりと実行し築き上げられ、30年を経てようやく実感ができる成果であります。そのため、今でも銀山温泉は、行政視察が絶えないところでもあります。このノウハウを中心商店街に波及させるために、今こそ尾花沢の未来を考えるビジョンを示すことこそ大事だと考えます。ピンチはチャンス、逆転の発想で空き店舗や空き地、空き公共施設が多くなったこの時期こそ、未来を見据えた活性化有効活用策を考える好機ではあると思います。

先の通告に従い質問いたします。

はじめに、銀山温泉と市内の冬の観光ビジョンに関して質問します。

先月の11月16日、尾花沢新庄道路の全線が開通し、平成28年度、国道347号の冬季通年通行など、これからつながる縦軸と横軸の道路網整備により、今後、物流はもちろん人的流入など、新たな流れが誕生すると思われれます。これらの流れを踏まえ、市ではどのようなビジョンをもって観光・商業・農業の産業の振興に取り組んでいくおつもりかお尋ねします。

特に冬場の観光地として注目を集めている銀山温泉は、今年のDCキャンペーン後も着実に客足を伸ばしてきております。銀山温泉や花笠高原スキー場以外にどのようなものを冬の観光として今後PRできると考えておりますか。また、日本三雪の地尾花沢の冬の観光をブランディング化するために、どのような取り組みをすべきか、お考えをお聞きます。

また、六沢大根・南沢カブ・細野の山ぶどうなど活発になりつつある中山間農業の振興として、農閑期となる冬の季節こそ6次産業の活性化を図るべきと考えています。農林業の振興策は、今後どのように地域の活動と連携していくのでしょうか。現在想定されている目標はありますかお尋ねします。

商業振興の要である中心商店街活性化対策として、空き店舗や空き地の活性化、有効活用が欠かせません。銀山温泉においては、週末の入込数が震災前の状況に戻るなどしておりますが、その効果を市内全体に波及するためにどのような政策がとられますか。銀山温泉の活気を波及させるために、商店街にもその流れをもっていきたいところです。

次に、温泉を活用した心と体の体力づくり事業を要望します。

働く世代の健康増進も含め、高齢になっても元気な尾花沢市民の割合を増加させることが、財政の健全化には何より肝心だと考えます。年々高額になる高齢者の医療費の抑制を図るため、市内の温泉を活用した「高

齢者の健康づくり事業」などを実施してはどうですか。

高齢者コミュニティセンター「銀嶺荘」は昨年7月から休館となっておりますが、設置目的である「高齢者の健康で明るい社会活動の推進と地域の振興」を達成するために、休館中どのような取り組みがなされてきたのか。また、新たな高齢者コミュニティセンターの構想などがありますかお聞きします。

10周年記念を迎えた徳良湖「花笠温泉」に関してですが、先日は記念事業として山形舞妓の公演があり、大変賑わったそうです。徳良湖温泉「花笠の湯」は、人気の湯の花一座のトップスターを司会にしてイベントは大盛況でした。入浴券付きステージ、わずか千円で尾花沢ではめったにお目にかかれない舞妓さんのステージを観られるとあって、イベントのチケットは数日で好評完売したと聞きました。会場を埋め尽くした市民の歓声と笑顔を見て、湯に入りともに笑う元気な高齢者の皆さんを見て、これが尾花沢らしい身の丈に合った温泉施設の活用なのだと気がつきました。花笠音頭発祥の地「徳良湖」周辺の施設を活用して医療費削減、温泉施設活性化を兼ねた健康産業の振興「心と体の健康づくり事業」を核にして、日頃市長がスローガンとして掲げている元気な尾花沢の事業展開として行ってはどうでしょうか。市の中心部、へそと呼ばれる徳良湖ですが、そこを舞台として「心と体の健康づくり事業」を実施することは、大変いいことだと思っております。市長のご所見を伺います。

次に、公共施設の改修と今後の活用に関してお尋ねします。

先の一般質問でも何度もお聞きしたことなんですけれども、耐震基準を満たしていない空き公共施設について、今後、どのような対策を考えておられますか。旧尾花沢高校跡を利用した研修棟も、耐震診断により使用禁止になり現在に至っております。さまざまな活動団体が活動の場を追われ、転々として不都合を訴えております。改修するのか取り壊すのか、安心して活動できる場所を今必要としております。

現在、行政財産として使用されていない土地について、建物について、今後の活用方法をお聞かせください。

先日28日に、市民厚生常任委員会で銀嶺荘に視察に行きました。そこの大広間にひっそりとかけてあった春に仙台の仙と書いて春さんなんでしょうか、その方の短歌がありましたので紹介したいと思います。

「お互いの手足は貸せぬ仲なれど 介護は心 強き絆で 老いぼれもこよなく愛し銀嶺荘 恋を語りて若

返る今日 まず笑え 三世忘れ一時の 今を楽しめ  
あればまた来る 宝とは 磨く心に光りれる まぶし  
きほどのダイヤに勝る 方々の人つどいきて銀嶺荘  
情報交わす老いの勉強」。平成16年の4月とありました  
ので、ちょうど10年前に書かれたものでしょう。錆つ  
いた画鋏で留められておりましたが、ダイヤにも勝る  
この言葉に込められた利用者の思いをしっかりと感じ  
ました。市長がいつも言われているあれもこれもでな  
い、あれかこれかの決断で、これからさまざまなこと  
を実行に移していくときがきたのではないのでしょうか。

誠意あるご答弁よろしくお願ひいたします。私の壇上からの質問は以上ですが、必要に応じて再質問をお許しください。

◎議長（鈴木敏正議員）

市長。

〔市長 加藤國洋 君 登壇〕

◎市長（加藤國洋君）

おはようございます。ただいま、塩原議員より大きく3項目のお尋ねを頂戴しましたので、順次お答え申し上げます。

まず、銀山温泉と市内の冬の観光ビジョンに関してのお尋ねでございます。議員仰せのとおり先月16日に尾花沢新庄道路が開通し、また、念願でありました国道347号の通年通行につきましても平成28年冬に向けた工事が着々と進められており、縦軸横軸の道路網整備が形として見えてまいりました。今後、東北中央自動車道、特に東根尾花沢間の早期供用開始が望まれ、ミッシングリンクの解消により、人や物の流れが飛躍的に活発となり、大きな経済効果を生むものと期待してございます。

市では第6次総合振興計画において、さらなる交流人口の拡大、農・商・工・観、各産業の発展に活かしたいと考えてございます。例えば観光について申し上げますと、銀山温泉を中心に観光客を受け入れる環境整備として、駐車場やトイレの整備を挙げておりますが、集客した観光客をいかにして徳良湖周辺や御所山を含む花笠高原施設、さらに、芭蕉清風歴史資料館や道の駅「ねまる」など市内を周遊させるかが重要と捉えてございます。そのためには、道路標識等のサインや、拠点施設、広報活動を含めた戦略的なビジョンが必要であると認識しております。

また、本年6月、大崎市、加美町、大石田町、本市の2市2町により発足しました『国道347号「絆」交流促進協議会』におきましては、平成28年度の通年通行に合わせた広域観光マップの作成を予定しており、新

たな広域観光ルートが誕生するものと考えております。農林関係につきましても、産直団体等の交流による特産物販売のほか、農業団体等の団体研修を通じた交流促進なども計画されておりますので、これらの動きを支援するとともに、本市の魅力溢れる農産物や観光資源を幅広くPRしながら、人的交流の拡大に努めてまいりたいと考えております。

次に、本市の冬場の観光であります。議員仰せのとおり、豪雪地帯である本市の冬の観光地としては、銀山温泉及び花笠高原スキー場がメインの観光地となっている状況にあります。夏場であれば、多くの市民や観光客で賑わう徳良湖周辺施設や松尾芭蕉が峠越えた山刀伐峠など数多くの観光スポットが存在し賑わっている状況でございます。が、しかし冬期間は積雪のため閉鎖している施設も多く、冬期間ならではの観光地の魅力づくりが課題となっております。

冬の観光のブランディング化であります。平成24年度、25年度の2年間、銀山温泉の雪山トレッキングとして銀坑道かんじきツアーを実施し、大変好評を得たところであります。今年度につきましても、関係機関と連携を図りながら実施できるよう調整していきたいと考えております。

また、銀山温泉を訪れる方々の中には、台湾、香港に加え、タイなど東南アジアの観光客も多くなってきておりますので、それらの方々に徳良湖を周遊していただくためにも、徳良湖周辺の景色の美しさを楽しんでいただくだけでなく、雪を活かした体験メニュー、たとえば、かんじき体験やスノーモービル体験などについても検討しながら、誘客の拡大に努めてまいりたいと考えております。

次に、中山間地域の冬の農業の振興についてであります。現在、市単独事業として「尾花沢市元気な農業支援事業」を実施し、農閑期といわれる冬期間も継続して農業を営む、いわゆる周年農業に挑戦する農家を対象に支援をしております。実績といたしましては、ここ5年間で16件の採択がなされ、ハウレンソウやアスパラ等の出荷が始まっているなど年々増加傾向にあります。

また、南沢や細野地区などでは、地元のカブや蕎麦等を活かした地域づくりが進められており、県内外からお客さんが訪れるようになってきてございます。現在、さまざまところで6次産業化が提唱されておりますが、本市にとりましては、このような中山間地域を中心とした足元の6次化も重要だと考えております。

もともと農家は、野菜づくりから加工まで行ってお

りました。特に冬期間は、保存食として受け継がれてまいりました漬物づくりがございます。しかし、その伝統も地域から急速に失われているように感じてなりません。そのため、今後、このような地域が持っている「知恵」と「生き甲斐」を引き出すような事業を進めていくことが、中山間地域の農業振興に結びつくものと考えております。

具体的には、加工に必要な設備投資の軽減を図る支援や、冬期間も手軽に活用できる加工拠点施設の整備を検討していきたいと考えております。

また、現在、細野地区で整備しております農家レストランなど、通年でのグリーンツーリズム事業への支援も合わせて検討してまいります。このような6次産業化を推進することで、今後も地域住民の雇用機会の創出、農業・観光事業の振興により地域経済の活性化を図り、元気な地域づくりを進めてまいります。

次に、議員仰せのとおり、銀山温泉につきましては、震災発生後、大幅に入込客数が落ち込んだ状況にありましたが、徐々に回復してきており、特に本年実施されました山形DCキャンペーンの効果もあり、ほぼ震災前の水準にまで回復してきているものと認識しているところであります。

銀山温泉から市内への観光客の周遊を図るため、今年のDCキャンペーンにあわせ、銀山温泉に訪れていただいた方に対しチケットを配り、そば街道加盟店で冷たいサービスが受けられる「暑っつい夏の冷たいおもてなし」を企画実施したところであります。

また、平成21年度より銀山温泉に観光案内所を設置しており、随時、商店街で開催されるイベントなどの情報発信を行っているところであります。

商店街協同組合におきましても、商店街の賑わいを創出すべく、国の補助金を活用した「にぎわいまつり」の開催や街路灯のLED化、さらには宅配サービス事業など意欲的にさまざまな取り組みがなされているところであります。

今後、銀山温泉をはじめ市内外からより多くのお客様を呼び込めるよう、商工会や商店街協同組合と連携し、各商店の特色などを紹介した「パンフレット」や「うまいものマップ」なども作成しながら、情報発信に努めてまいりたいと考えております。

空き店舗、空き地の有効活用についてであります。現在、空き店舗等の活用も含め、新規で商業店舗を出店される方に対しましては、商業店舗出店補助制度を設け対応しているところであります。

次に、温泉を活用した市民の心と体の体力づくり事

業をしてはどうかというお尋ねでございます。温泉を活用した「高齢者の健康づくり」についてであります。温泉は、高齢者に限らず老若男女誰もがくつろぎ、癒されるものであります。温泉の目的には、観光・レジャー、レクリエーション、保健・医療などがあり、大別した利用法が考えられます。このうち、保健・医療面での利用としましては、休養・保養・療養などが挙げられます。温泉を利用することで、心身の疲れを癒し、休養と体力づくりを行い、医学的作用による代替医療として健康増進に繋げることが最良と考えられますので、今後、他市町村や他県での実施事例等を調査し、検討してまいりたいと考えております。

次に、高齢者コミュニティセンター銀嶺荘につきましては、銀山温泉からの給湯量の減少に伴い、昨年7月から休館しております。銀山温泉協同組合より配湯の見直しについては困難との返答があり、温泉を利用した施設の再開の目処についても厳しい状況にあります。施設は築後32年を経過し、機械設備等を中心に老朽化が進んでおり、再開に際しましても大規模な改修が必要となることが想定されております。また、開設当時は、温泉の活用を基軸とした高齢者の社会参加の推進と地域の振興を図ることを目的としておりましたが、近年、徳良湖温泉「花笠の湯」が開設され、市内外から好評をいただいております。

銀嶺荘の設立当初の目的とその役割は徳良湖温泉や花笠高原等に着実に引き継がれたものと考えております。したがって、高齢者コミュニティセンターとしましては、廃止を検討しているところであります。

次に、徳良湖温泉「花笠の湯」と徳良湖周辺を活用した「心と体の健康づくり事業」を実施してはとのお尋ねでございますが、徳良湖周辺にはグランドゴルフ場・テニスコート・オートキャンプ場等の施設があり、多くの人々が憩いの場として、また、健康づくりの場として利用されているところであります。

議員仰せの「心と体の健康づくり事業」であります。周辺施設で適度な汗を流した後の徳良湖温泉「花笠の湯」での保養が第一に考えられますが、他の自治体等の事例も参考にしながら検討してまいりたいと考えております。

また、県の平成27年度新規事業としまして「市町村オリジナル健康づくり事業」が予定されているとお聞きしておりますので、この新規事業も活用し市民の心と健康づくりに繋げてまいりたいと考えております。

続きまして、公共施設の改修と今後の活用についてのお尋ねについてお答え申し上げます。

空き公共施設の利活用につきましては、庁内に「空き公共施設の利活用及び管理に関する検討委員会」を設置し、利活用や管理、処分などについて検討を行ってまいりました。検討においては、安全性の確保を基本とし、行政での利活用や地域・団体での利活用など幅広く検討してきたところであり、一部利活用されているところであります。新耐震基準では、震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能とされており、国土交通省の構造耐震指標(Is値)は0.6以上を求めていますので、安全性の確保を基本として進めてまいります。耐震基準を満たしていない施設につきましては、一部倉庫等での利活用を除き、今後、施設の老朽度、安全性、景観等を考慮しながら、計画的な解体を図ってまいりたいと考えております。

次に、現在、行政財産として使用されていない土地の活用方法についてのお尋ねでございますが、平成25年度末現在、市が保有する土地は行政財産が約485万㎡で、普通財産が約280万㎡となっており、合計で約765万㎡となっております。行政財産にあつては、耐震化の課題や学校の統合により使用されない施設も出てきているところではあります。地方自治法第238条の4の規定により原則、貸付、売払い、譲与等に制限が設けられており、現在、敷地を含めた空き公共施設のあり方について内部調整を行っている段階であります。今後、施設の利用需要の変化を見据えながら、長寿命化を図るべきか、取り壊すべきかなどの方向性について協議を進め、平成28年度策定予定の公共施設等総合管理計画に反映させていきたいと考えております。

また、普通財産であります。山林・原野が9割以上を占めており、市街地における未利用土地は12,600㎡ほどでございます。すでに県営アパートの駐車場や警察アパート敷地などとして貸出している土地を除けば、9,700㎡程度となります。しかし、土地が散在していること、がけ地のために建築規制のある土地や道路に接していない土地もあり、実際に活用可能な土地は4,400㎡となっております。このように利用計画がなく活用可能な土地については、今後とも、売り払い等の適正処分に努めてまいります。

以上、私からの答弁とさせていただきますが、また、詳細、足りない部分は担当課長より答弁いたさせます。

◎議長(鈴木敏正議員)

塩原議員。

◎3番(塩原未知子議員)

それでは、もう少しお聞きしたいところをお願いしたいと思います。

まず始めに、冬の観光ビジョンに関して、さまざまスキー場や银山以外でも、これから準備をしているということで、例としては、かんじきツアーなどトレッキングということがありました。最近大変人気が出て来ている冬山を歩くとか、冬のフィールドを歩くクロスカントリースキーと言うとスポーツになってしまうんですけども、ただ本当に歩くだけ。冬だけでなく尾花沢でもウォーキングラリーとかウォーキングツアーみたいな形で、市内の商店街を歩くということが、今年の春と秋だったと思いますけれどもNPOの方、地域のNPOと組んで商工会がやったりとかということをお聞きして、大変好評だったということです。ですので、本当に風景を見ながらの歩くだけでも本当に気分が良いですし、さらには、まちをいろんな人達が廻っていただけるということで、これは好都合だなというふうに思っているところです。それが冬となりますと、やはり安心安全に歩ける場所というのがなかなか少ないと思いますが、特に银山温泉のお客さんの客層とは相容れないかも知れませんが、徳良湖の周辺は十分に道路と離れたところに歩く、かんじきを履いてでもいいですし、普通に歩くということで、少し踏み固めた道であれば、散歩がてら歩くということが非常に体にも良いし、観光のお客様にも良いアピールになるのではないかと考えているところです。そのようなツアーをどんどんやっていただきたいなと考えているところです。それと、先ほど2番目の質問にもあったんですけど、温泉を活用するというで「暑っつい夏の冷たいおもてなし」が今回のDCキャンペーンの影のキャッチフレーズみたいな形で、非常に良い効果を見せているとのお答えもありましたので、逆にですね「冷たい冬の暖かいおもてなし」という形で寒い雪の野原を歩いていただいて、その後ゆっくりと温泉に浸かってくつろいでいただくという尾花沢流の観光などもあると思います。ぜひそのような考えをもっていたきたいと思います。

あとですね、除雪車の周っている朝しか見られない様子ですけども、ブルドーザーがダァーと雪を積んでいる姿なども、実は初めて見る子供たちにとっては非常に面白いというか、素晴らしいショーのような形で見えるということをお聞きしております。ぜひですね、日中なかなか見られないかもしれないですけど、徳良湖辺りの駐車場は逆にそういうものを見せられるような雪山をわざと作るような、そんな工夫というのできるのではないかと私は思っているんですけどもいかがでしょうか。そんな活用の仕方は可能ですか、

ちょっとお聞きしたいと思います。

◎議長(鈴木敏正議員)

商工観光課長

◎商工観光課長(加賀剛君)

今、塩原議員のほうからお話ありました雪山の関係で、真冬に果たして、駐車場のほうもある程度、常設という形でおこなっている部分について、雪山が果たしてできるのかどうなのかなということも検討させていただかないとまずいかなとも思います。今から7・8年前かとも思いますけれども、大雪でありまして除排雪のほうなかなか進まないくらいの大雪のときがありまして、徳良湖まつりまで逆に雪を残して、そこに滑り台を作ったようなときもあったわけですけども、そういった面で徳良湖のほうに訪れていただいた方については、5月の雪山の滑り台ということで、非常に好評いただいたこともありますけれども、なかなか気温も高くて見ているうちから溶けていくような状況もありますので、そういったことも含めてさらに検討させていただきたいと思います。

◎議長(鈴木敏正議員)

塩原議員。

◎3番(塩原未知子議員)

昔、徳良湖に雪山というか、雪の実験の山もあった時期も憶えておりますので、いろんな試み、尾花沢ならではの、冬に来て「おっ！これはすごいな」と思うくらいのを用意してみるのも1つの手かなと思っております。

银山温泉の雰囲気、あと全く真逆であります雪と戦う尾花沢ということも全て観光になるのではないかと私は思っております。冬の季節こそお客様を今以上に呼び込めば、もっともっと活気ある尾花沢の観光産業になるのではないかと考えております。そのことが、商店街に、商店街のほうにまで波及するような何かそんなに難しくなくできるようなことで結構ですので、今年の冬これから本格的な冬になるんですけども、何か中心商店街と組めるようなことはないのか、そこをもう少しお聞きしたいんですけども。以前は資料館の前にたら靴で雪を踏み固めて、尾花沢の冬ってこんなふうにして除雪していたということをアピールしていた時期もございます。最近では全部除雪しているのでそれはないですけども、そのようななんか今年の秘策みたいなのがありますでしょうか。お聞きしたいと思います。

◎議長(鈴木敏正議員)

商工観光課長

◎商工観光課長（加賀 剛 君）

今、塩原議員のほうからありました冬の商店街の取組みということにつきましては、そこまで具体的な検討は進んでいないところであります。先ほど市長のほうからも答弁ありましたように、商店街のほうの各個店の方の素晴らしい品物等もあるわけですけれども、どうしても、にぎわい祭り等でいろいろ個店の紹介等の関係の冊子も作ってはいるんですけれども、まだまだ外部のほうにまで行き渡っていないものですから、そういったものも、外部の方も来ていただけるような場所に設置できるような方向で関係機関とも進めていきたいと考えているところであります。

◎議長（鈴木 敏 正 議員）

塩原議員。

◎3番（塩原 未知子 議員）

よろしくお願ひします。

ぜひ、資料館のことですが、白蓮の展示。白蓮関係の展示で期間中2ヶ月間ですけれども大変賑わったとお聞きしておりますので、ちょっとした工夫で集客ができる、尾花沢市内の方も行ってみようという気になるというような工夫、冬版のにぎわい祭りを何かやっていただきたいなと思っています。よろしくお願ひします。

では、次の質問のもう少しお聞きしたいところお願ひしたいと思いますが、健康づくりに関して、先ほど市長の答弁の中に、来年度は市町村のオリジナルの事業として何か新たな健康に関する事業が展開されるということで、尾花沢の今ある温泉資源、あといろいろな体力づくりに関してのスポーツの施設、大変多いと思います。テニスコートもありますし、キャンプ場もありますし、冬の間のトレッキングコースもいかようにも取れる尾花沢の徳良湖、その他のスキー場の周辺もあると思います。さまざまあると思いますのでそのような元々尾花沢であって、皆さん親しまれているものにも関して、これからどんどん積極的な組み合わせだと思っています。1つ1つの場所がかなり遠い尾花沢です。鶴子・銀山・徳良湖もそうですし、細野もそうですし、それぞれ冬場で行くとかなり遠いかなというふうに思われる場所でもありますけれども、それを上手くつないで1+1+1が3ではなくて4でも5でもその倍の10にでもなるような、何か周遊するようなツアー、もしくは先ほど観光パンフレットならぬ街場のパンフレットを新たなこともチラッとお聞きしましたので、何かそういう方々にも伝わるような分かり易いPRをしていただきたいなと思っています。地元の人、私達も含

めて健康に関しては毎日本当に考えていくことでありますし、観光で来たお客さんに対してもたぶん健康というキーワードが大変重要なこれからの引き込みになってくると思いますのでぜひ、しっかりと考えながら観光にも活かしていただきたいなと思っています。

先ほど銀嶺荘の話は分かりました。これからの地域の中でも活用がある、もしくは取り壊す方向で行くのか、決定は地域と一緒によく考えなさいと思うんですけれども、コミュニティーセンター構想という私の先ほどの質問では、そういった形で言ったんですけれども、市内全体で特定の地域だけでなく尾花沢、オール尾花沢で健康を考えるような構想をぜひ練っていただきたいなと思っています。本当に、健康あつてのことだと思います。市長がいつも言われてますが、元気がないと駄目なんですよ。それが、1人1人の健康がまず要だと思います。その辺りどうでしょうか。建物がどうのではなく健康維持・健康管理ということで、尾花沢でやられていることをもっと広めるということで何か構想があるのかどうかお聞きしたいと思います。

◎議長（鈴木 敏 正 議員）

健康福祉課保健主幹。

◎健康福祉課保健主幹（池田 正彦 君）

先ほど市長もご答弁しましたけれども、塩原議員の質問の中の「高齢者の健康づくり事業」及び「徳良湖を利用した心と体の健康づくり事業」ですけれども、両方温泉を利用した事業かと思っています。それで、先ほど市長も申しましたけれども、県の27年度の新規事業の中でなんですけれども、住民の健康づくりのため市町村の温泉や食など観光・地域資源を活かした新たに取り組む住民の健康づくり事業というのが内容でございますので、これが来年度県のほうで5月春先に実施要綱及び補助金要綱が作成されるということをお聞きしておりますので、それができた段階で何ができるかを検討しながら、それまで準備していろんな他市町村の実施状況なども取り入れ検討してみたいと思いますので、県の新規事業を参考に今後進めたいと思っていますのでございます。

◎議長（鈴木 敏 正 議員）

塩原議員。

◎3番（塩原 未知子 議員）

ぜひ、市長のご所見をもう一度。健康づくり、元気な私たちの健康のためにということで市長がいつも言われている元気な尾花沢に本当にびたっとマッチするようなことだと思いますので、市長のお考えをもう一度お聞きしたいと思います。

◎議長(鈴木敏正議員)

市長。

◎市長(加藤國洋君)

先ほど、申しあげました議員仰せのとおり、まず元気な尾花沢をつくるためには、市民一人一人の元気が何より大事だと、そういった一人一人の中には、若年層・高齢者さまざまな世代の方がいらっしゃいます。そういった中で、お尋ねの高齢者の方々の元気健康長寿そういった方向性を目指すということでは、さまざまな観点分野から、いろんな施策を展開しています。先ほど申し上げたような、元気なお年寄りの元気づくり、それから、食べ物も大事でございますので、そういった農産物・特産物を活かしながら、食べ物での健康管理、そしていろんな運動分野での健康管理をすべて総合的に絡めて全体の健康な形を作り上げていく。これがもっとも大事だと思っています。そういったことを見据えながら、これからも取り組んでまいります。

◎議長(鈴木敏正議員)

塩原議員。

◎3番(塩原未知子議員)

本当に、それがなによりだと思いますので、ぜひ皆さん全地区がまとまって、そこに向かえるような事業の案を他の市町村に真似をしなくても、逆に言うと、他市町村のことを気にしなくても、尾花沢流の尾花沢の本当に中にあるものを十分に出せば、全国1番に輝くような事業ができるのではないかと考えておりますので、そのようにお願いしたいと思います。

次に、先ほど公共施設のことをお尋ねしたところなんですけれども、利用されていない土地、だいたい冬は雪山になっているのかなと想像するんですけれども、中心商店街の近辺にもあるということも聞いています。さまざまな建物もそうですけれども、あと10年、20年すると建物自体はもうないだろうと予想されるものがたくさんあります。これも含めて、全部市の財産だと思います。活用してこそ財産だと思います。有って困るというのではなくて、有って良かったというような形で使用されていけば何も心配はないんですけれども、その先どうなるんだろうね。朽ちてしまってこれからひと冬越せるんだろうか、なんて建物も少しずつ出て来ているところです。何も使っていない場所があれば、それは有効に活用する。そのようにやっていただきたいと思っています。特に私、気になっているところ2カ所ほどあるんですけれども、徳良湖の東側、地名で言うとちょっと分からないんですけれども、基幹集落センターの南側というか東側というか雪捨て場にな

っているところがあります。だいたい夏は草が茫茫生えていまして、昨年から手前の湖の近くのほうはスゲを植えたりさまざま活用し始めてはおりますけれども、さらにその東側のほうに、雪山が積まれていたり、土砂が積まれていたりするところがありますが、そこも徳良湖としては大変景観の大事なポイントだと思しますので、あの活用などぜひ今後考えて行っていただきたいなと思っています。見通しが良くなった分、そのエリアの草丈が伸びてくると気になっていたりします。よろしくお願ひしたいと思いますが、その場所に関しては、何か計画があるんでしょうか。当面分かりませんが、お答えいただければと思います。

◎議長(鈴木敏正議員)

商工観光課長

◎商工観光課長(加賀剛君)

今のお話については、たびたび定例会のほうでもお話いただいているわけですが、過去に基幹集落センターの脇については、中山間の関係ですか水辺の利用という形で計画をしているものでありましたが、現在、その計画のほうも中断しているような状況であります。さらに東側のほうの道路改良に伴う部分についても、その駐車場という形での経過がなされたところでもありますけれども、今までもお答えをさせていただいておりますけれども、徳良湖全体的なマスタープランの改定も必要かと思っておりますので、そういった部分での利活用を今後検討させていただきたいと考えております。

◎議長(鈴木敏正議員)

塩原議員。

◎3番(塩原未知子議員)

ぜひ、ですね、観光のお客様も通る見通しのよい所はできるだけ美しい姿であってほしいなと思っています。ですので、徳良湖全体のマスタープランぜひ早めにお作りいただきたいなと思っています。

その他、いろいろ気になるところがございますが、尾花沢は大変本当に雪景色も綺麗だということで、バスの中からの眺めも、吹雪も感動して帰られる観光のお客が多いところです。道路の状況もそうでしょうけれども、晴れたときに雪山を眺めながらその手前の風景が非常に本当に心安らぐ、私は、本当に素晴らしいところだと思っていますので、冬こそ見ていただきたい。冬こそ本当に綺麗だということを何か所かお作りいただいて、そこをビューポイントにして通っていただいて、そして尾花沢の街を眺めていただく、

雪を眺めていただく、そんな格好にさせていただきたい  
と思います。

以上、私の質問はこれで終わりますけれども、ぜひ  
今年は雪たくさん降らないことを祈って、あとケガの  
ないように万全に春を迎えたいと思います。よろしく  
お願いいたします。